式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	広島商船高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
	商船学科 航海コース			2	5	7	7	
	商船学科 機関コース				5	7	7	
	電子制御工学科				8	8	7	
	流通情報工学科				8	8	7	
	海事システム工学専攻				8	8	7	
	産業システム工学専攻				8	8	7	
（備考）								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/admissions/scholar/

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	広島商船高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

１．理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表
https://www.kosen-k.go.jp/release/independence#link01

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
常勤	国立高等専門学校　理事（2024 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）	2026 年 4 月 1 日～2029 年 3 月 31 日	理事長
常勤	文部科学省官房参事官（命）文部科学戦略官	2026 年 4 月 1 日～2026 年 10 月 15 日	総務
非常勤	東京大学教授	2026 年 4 月 1 日～2028 年 3 月 31 日	ダイバーシティ
常勤	東北大学工学研究科長	2026 年 4 月 1 日～2028 年 3 月 31 日	研究・産学連携 茨城工業高等専門学校校長兼務
（備考） 理事長は 2024 年 3 月 31 日まで九州大学大学院総合理工学府長・研究院長			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	広島商船高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画（シラバス）は国立高等専門学校機構のモデルコアカリキュラムに基づき到達目標、ルーブリック、教育方法、授業評価および評価割合を記載したものを作成し、教務委員会にて確認のうえ、Web 上で公開している。シラバスは下記過程で作成している。 ・１２月　　次年度の授業計画を作成し、基本データを作成 ・１月末　　各教員が担当授業のシラバスを作成 ・４月１日　　シラバスの Web 公開

授業計画書の公表方法	https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=33&year=2018

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 広島商船高等専門学校学則および広島商船高等専門学校教育規則に基づき単位認定および進級卒業認定の条件を定めており、シラバスに公表された基準により成績評価を行っている。また、単位認定および進級卒業判定にあたり学内会議を開催し、全教員にて審議のうえ認定している。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 広島商船高等専門学校教育規程の成績評価基準に基づき各科目の定期試験等の結果を１００点法により評価している。各科目の評価点を元に下記方法により平均点および学年順位を算出している。 【平均点および学年順位の算出方法】 学生が１年間に履修した科目を各々１００点法により評価し、評価点の和を履修科目数の和で割り、学生毎に全履修科目の平均点を算出する。算出された平均点を元に学年、学科・コース別の成績順位付けを行う。成績順位付けは前期末及び学年末の成績毎に行う。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/admissions/scholar/

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

【卒業認定の基本方針】

広島商船高等専門学校は、豊かな人間性と国際性及び、強い精神力と高い倫理意識を持ち、将来社会において活躍するための基礎となる知識と技術を身につけ、さらに生涯にわたって学ぶ力を備えた人材を育成することを理念としています。本校ではこの理念に基づいて、学習・教育目標に沿って設けた授業科目を履修し、以下の項目にあげる知識・能力を身に付け、修得した学生に準学士の称号を授与します。

【養成する人材像】

(A)豊かな心、生きる力及び規範意識を身につけている
→人文・社会科学系科目

(B) 地域や国際社会に対応できるコミュニケーション力を身につけている
→語学系科目

(C) データサイエンスに関する情報科学の知識を習得し、専門分野で活用できる工学に関する基礎知識を身につけている
→自然科学系科目、専門教科

(D) 専門知識を習得し、実験・実習及び演習・実技を通してその知識を応用できる
→専門教科

(E) 課題を発見し、創造的に対応できる実践力を身につけている
→実習・演習系科目及び卒業研究

準学士課程では、本科の学習・教育目標である「 (A) 豊かな心、生きる力及び規範意識の育成、(B) 地域や国際社会に対応できる広い視野と素養の形成、(C) 基礎科学や情報処理の知識・技術の習得、(D) 専門的知識・技術とその活用力の習得、(E) 社会に貢献できる創造力と実践力の育成」の各目標に対応した科目の履修により、商船学科については 147 単位以上、総合科学科については 167 単位以上を修得した学生に卒業を認定し、準学士と称することを認めます。

ここで、一般科目は (A)、(B)、(C) の科目、専門科目は (C)、(D)、(E) の科目が対応します。

上記単位の修得により、本科の教育目的「豊かな心、生きる力及び規範意識の育成、地域や国際社会に対応できる広い視野と素養の形成、基礎科学や情報処理の知識・技術の習得、専門的知識・技術とその活用力の習得、社会に貢献できる創造力と実践力の育成」を実現します。

専攻科共通

【修了認定の基本方針】

学習・教育目標に沿って設けた授業科目を履修し、以下の項目にあげる知識・能力を身につけ、専攻科に 2 年以上在学し、62 単位以上を修得した学生に対して修了を認定します。

【養成する人材像】
(A) 豊かな人間性と社会的責任感を身につけている。
　→人文・社会科学系科目
(B) 国際社会に対応したコミュニケーションスキルを身につけている。
　→語学系科目
(C) 専門分野で活用できる基礎科学と情報技術を身につけている。
　→自然科学系科目
(D) 専門知識・技術を確立し、それを発展的に応用できる。
　→専門教科
(E) 社会情勢の変化に対応した問題解決能力を身につけている。
　→実習・演習系科目および特別研究

専攻科課程では、専攻科の学修・教育目標である「(A)　豊かな人間性と社会的責任感の育成、(B)　国際社会に対応したコミュニケーションスキルの養成、(C) 基礎科学と情報技術の習得とその活用、(D) 専門的知識・技術の確立と発展的応用、(E) 社会情勢の変化に対応した問題解決能力の育成」の各目標に対応した科目の履修により、2 年以上在学し、62 単位以上を修得した学生に対して修了を認定します。

上記単位の修得により、専攻科の教育目的「(A)　豊かな人間性と社会的責任感の育成、(B)　国際社会に対応したコミュニケーションスキルの養成、(C)　基礎科学と情報技術の習得とその活用、(D)　専門的知識・技術の確立と発展的応用、(E) 社会情勢の変化に対応した問題解決能力の育成」を実現します。

卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal/

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	広島商船高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにて公表 https://www.kosen-k.go.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/zaimusyohyoR6.pdf (https://www.kosen-k.go.jp/release/independence)
収支計算書又は損益計算書	ホームページにて公表 https://www.kosen-k.go.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/zaimusyohyoR6.pdf (https://www.kosen-k.go.jp/release/independence)
財産目録	
事業報告書	ホームページにて公表 https://www.kosen-k.go.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/R6jigyouhoukoku.pdf (https://www.kosen-k.go.jp/release/independence)
監事による監査報告（書）	ホームページにて公表 https://www.kosen-k.go.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/R6jikotennkennhyouka.pdf (https://www.kosen-k.go.jp/release/independence)

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：独立行政法人国立高等専門学校機構の年度計画　対象年度：令和８年度　）
公表方法：https://www.kosen-k.go.jp/wp/wp-content/uploads/2025/03/r7-keikaku.pdf （https://www.kosen-k.go.jp/release/independence）
中長期計画（名称：独立行政法人国立高等専門学校機構の中期計画　対象年度：令和６年度から令和 10 年度）
公表方法：https://www.kosen-k.go.jp/wp/wp-content/uploads/2025/03/5th-keikaku.pdf （https://www.kosen-k.go.jp/release/independence）

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/disclosure/plan/

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/disclosure/plan/

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　商船学科（航海コース・機関コース）
教育研究上の目的 （公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/departments/shosen/） （公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal/）
（概要） 商船学科は、船舶の運航や管理に関わる知識と技術を身につけ、世界の海で活躍できる海事技術者を育てることを目的としている。航海コース及び機関コースを設置している。 【航海コース】 航海コースでは、貴重な人命、高価な荷物、財産でもある船を、安全かつ経済的に目的地まで運ぶ重要な任務を果すための、判断力や責任感などを養う。船の運航技術を学ぶことで、船舶の運航以外にも、港湾管理や陸上の流通分野、海事関連産業においても広く活躍できる人材を育成する。 【機関コース】 機関コースでは、船舶が目的地に確実に到着するため、船舶の推進装置をはじめ、衣食住に関わる全ての機器についての構造や特徴、危機管理と安全意識などを学ぶ。これらの機器に関する安全運転や維持・管理に必要な知識と技術をもとに、海上だけでなく陸上企業等の様々なフィールドで活躍できる人材を育成する。
卒業又は修了の認定に関する方針 （公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal/）
（概要） 商船学科は、海事関連分野の専門技術を中心とした実践的技術を身に付け、社会情勢の変化に応えられる技術者の育成を目的としています。本学科ではこの目標に基づいて、以下の卒業認定に必要な能力を身につけた学生に対して、準学士の称号を授与しています。 (A) 豊かな心、生きる力及び規範意識を身につけている (B) 地域や国際社会に対応できるコミュニケーション力を身につけている (C) 海事関連分野で活用できる工学及びデータサイエンスに関する基礎知識を身につけている (D) 船舶の運航や管理に関わる専門知識を習得し、実験・実習及び演習・実技を通してその知識を国内外の海上輸送分野で応用・実践できる (E) 課題を発見し、創造的に対応できる実践力を身につけている
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal/）
（概要） 商船学科では、ディプロマポリシーに掲げる 5 つの能力を学修するため、低学年では一般教養科目に重点を置き、学年進行に伴い徐々に専門科目の比重を増加する楔形の 5 年 6 か月の一貫教育課程を編成しています。ディプロマポリシーの（A）（B）(C)は高専機構モデルコアカリキュラム「技術者が共通で備えるべき基礎的能力」と「基礎的資質・能力」、（D）は「技術者が備えるべき分野別専門的能力」として商船系分野（航海）もしくは商船系分野（機関）、（E）は「創造性・デザイン能力」に準拠して定めています。 (1) 豊かな心・規範意識や人間力を養い、他者や社会の多様な状況を理解できる知識を身につけるための人文・社会科学系科目を設置する。 (2) 地域や国際社会で活躍するための理解力やコミュニケーション基礎力を身につけるための語学系科目を設置する。 (3) 海事関連分野で活用できる工学及びデータサイエンスに関する基礎知識を身につけるために、自然科学・情報科学系科目を設置する。

(4)「Society 5.0」において活躍できる船舶の運航や管理に関わる知識と技術を身につけ、世界の海で活躍できる海事技術者を育成するために必要な科目として、航海コースでは、航海学、海上交通法、船舶の管理運用、物流管理、通信に関する科目を、機関コースでは、内燃・蒸気機関、伝熱、流体、材料、電気機械、情報処理、機関管理に関する科目を設置する。
(5) 航海実習や卒業研究に取り組み、上級船員に求められる課題解決力や実践的チームワーク能力（シーマンシップ）を身につけられる科目を設置する。

入学者の受入れに関する方針
（公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal/）

（概要）
本校では、「専門的知識と技術及び豊かな人間力を有し、社会に貢献できる実践的で創造的な技術者」の育成を目的とし、「求める学生像」に沿って、その能力と適性を有する人材を選抜するため、以下の方法で選抜を行います。
○ 推薦による選抜（全学科共通）
出身学校長が責任を持って推薦した学生で、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎的学力を有した学生を選抜するため、推薦書及び調査書を評価するとともに、志願動機、意欲、適性などに関して面接を行い、その結果を総合的に評価します。
○ 学力検査による選抜（全学科共通）
本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した学生を選抜するため、調査書を評価するとともに学力検査（理科、英語、数学、国語及び社会の 5 教科）を行い、その結果を総合的に判断します。なお、学力検査はマークシート方式になります。
○ 帰国生徒特別選抜（全学科共通）
豊かな国際性を備え、本校の教育を受けるのに必要な素養を有した学生を選抜するため、志願動機、意欲、適性などに関して、提出書類の評価と学力検査（理科、英語及び数学の 3 教科）、作文（日本語）及び面接を実施し、その結果を総合的に評価します。なお、学力検査はマークシート方式、作文は与えられたテーマについて 600 字程度になります。

学部等名　電子制御工学科

教育研究上の目的
（公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/departments/denshi/）
（公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal/）

（概要）
電子制御工学科は，電子制御に関わる下記の基本的な知識と技術を身につけ、高度工業化社会において活躍できる実践的メカトロニクス技術者を育成する。

１．電気・電子、機械、計測・制御、情報の 4 分野に関わる基縫知識を修得する。
２．電気・電子回路、機械加工、コンピュータ制御に関する基礎技術を身につける。
３．「ものづくり」実習や卒業研究に取り組み、実践的技術力や創造力を身につける。

卒業又は修了の認定に関する方針
（公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal/）

（概要）
電子制御工学科は、電気・電子、機械、計測・制御、情報の専門技術を中心とした幅広い基礎技術を身につけ、社会のニーズに応えられる技術者の育成を目的としています。本学科ではこの目標に基づいて、以下の卒業認定に必要な能力を身につけた学生に対して、準学士の称号を授与しています。

(A) 豊かな心、生きる力および規範意識を身につけている

(B) 地域や国際社会に対応できるコミュニケーション力を身につけている
(C) 電子制御分野で活用できる工学に関する基礎知識を身につけている
(D) 電子制御に関わる専門知識を修得し、実験・実習および演習・実技を通してその知識を電気電子、機械、計測・制御、情報分野で応用・実践できる
(E) 課題を発見し、創造的に対応できる実践力を身につけている

教育課程の編成及び実施に関する方針
（公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal/）

（概要）
電子制御工学科ではディプロマポリシーに掲げる 5 つの能力を学修するため、低学年では一般教養科目に重点を置き、学年進行に伴い徐々に専門科目の比重を増加する楔形の 5 年一貫教育課程を編成しています。ディプロマポリシーの（A）（B）（C）は高専機構モデルコアカリキュラム「技術者が共通で備えるべき基礎的能力」と「基礎的資質・能力」、（D）は「技術者が備えるべき分野別専門的能力」として電気・電子系分野、機械系分野、材料系分野、情報系分野、（E）は「創造性・デザイン能力」に準拠して定めています。

(1) 豊かな心・規範意識や人間力を養い、他者や社会の多様な状況を理解できる知識を身につけるための人文・社会科学系科目を設ける
(2) 地域や国際社会で活躍するための理解力やコミュニケーション基礎力を身につけるための語学系科目を設ける
(3) 電子制御分野で活用できる工学に関する基礎知識を身につけるために、自然科学系科目を設ける
(4) 「Society 5.0」において活躍できる実践的・創造的メカトロニクス技術者を育成するために必要な科目として、電気・電子、機械、計測・制御、情報に関する科目を設置する
(5) 専門知識を実践的活用することができるように、また、課題解決案の立案能力の取得や自ら学習する能力の取得を目指し、実験実習や卒業研究などを開設する

入学者の受入れに関する方針
（公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal/）

（概要）
本校では、「専門的知識と技術及び豊かな人間力を有し、社会に貢献できる実践的で創造的な技術者」の育成を目的とし、「求める学生像」に沿って、その能力と適性を有する人材を選抜するため、以下の方法で選抜を行います。

○ 推薦による選抜（全学科共通）
出身学校長が責任を持って推薦した学生で、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎的学力を有した学生を選抜するため、推薦書及び調査書を評価するとともに、志願動機、意欲、適性などに関して面接を行い、その結果を総合的に評価します。

○ 学力検査による選抜（全学科共通）
本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した学生を選抜するため、調査書を評価するとともに学力検査（理科、英語、数学、国語及び社会の 5 教科）を行い、その結果を総合的に判断します。なお、学力検査はマークシート方式になります。

○ 帰国生徒特別選抜（全学科共通）
豊かな国際性を備え、本校の教育を受けるのに必要な素養を有した学生を選抜するため、志願動機、意欲、適性などに関して、提出書類の評価と学力検査（理科、英語及び数学の 3 教科）、作文（日本語）及び面接を実施し、その結果を総合的に評価します。なお、学力検査はマークシート方式、作文は与えられたテーマについて 600 字程度になります。

○編入学試験（電子制御工学科及び流通情報工学科）
編入学者の選抜は、「推薦による選抜」と「学力検査による選抜」の二つで行います。

1　推薦による選抜は、在学する高等学校長から提出された推薦書及び調査書並びに本校で実施する口頭試問及び面接の結果を総合して行います。
2　学力検査による選抜は、提出された調査書並びに本校で実施する学力検査の成績及び面接の結果を総合して行います。なお、学力検査科目は次に示す通りです。
・電子制御工学科
英語、数学、専門科目（数学・物理または電気基礎のどちらかを選択）
・流通情報工学科
英語、数学、小論文（流通または情報若しくは流通情報に関わるテーマを提示する）

学部等名　流通情報工学科

教育研究上の目的
（公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/departments/ryutsu/）
（公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal/）

（概要）
流通情報工学科は，流通・ビジネス系または情報・通信系に関わる基本的な知識と技術を身につけ、ICT 社会において活躍できるビジネスパーソンまたは情報技術者を育成する。
1．情報基礎、データ解析・統計、経営などのビジネス分野の基礎知識を修得する。
2．流通・ビジネス系では、物流、会計、経営、市場、管理などのビジネス分野の専門知識・技術を身につける。
3．情報系では、ソフトウェア、システム、ネットワークなど、情報分野の専門知識・技術を身につける。
4．ビジネススキル・マナーの実技や卒業研究に取り組み、管理能力や課題解決能力を身につける。

卒業又は修了の認定に関する方針
（公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal/）

（概要）
流通情報工学科は、情報工学・管理工学に関する技術を身につけ、流通・経営分野の管理・運営に応えられる技術者の育成を目的としています。本学科ではこの目標に基づいて、以下の卒業認定に必要な能力を身につけた学生に対して、準学士の称号を授与しています。
(A) 豊かな心、生きる力および規範意識を身につけている
(B) 地域や国際社会に対応できるコミュニケーション力を身につけている
(C) 流通ビジネスまたは情報通信分野で活用できる工学に関する基礎知識を身につけている
(D) 流通ビジネスまたは情報通信に関わる専門知識を修得し、演習を通してその知識を情報社会や地域ビジネスで応用・実践できる
(E) 課題を発見し、創造的に対応できる実践力を身につけている

教育課程の編成及び実施に関する方針
（公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal/）

（概要）
流通情報工学科ではディプロマポリシーに掲げる 5 つの能力を学修するため、低学年では一般教養科目に重点を置き、学年進行に伴い徐々に専門科目の比重を増加する楔形の 5 年一貫教育課程を編成しています。ディプロマポリシーの（A）（B）（C）は高専機構モデルコアカリキュラム「技術者が共通で備えるべき基礎的能力」と「基礎的資質・能力」、（D）は「技術者が備えるべき分野別専門的能力」としてビジネス基礎系分野や経済ビジネス系分野、情報系分野、（E）は「創造性・デザイン能力」に準拠して定めています。
(1) 豊かな心・規範意識や人間力を養い、他者や社会の多様な状況を理解できる知

識を身につけるための人文・社会科学系科目を設ける
(2) 地域や国際社会で活躍するための理解力やコミュニケーション基礎力を身につけるための語学系科目を設ける
(3) 流通ビジネスまたは情報通信分野で活用できる工学に関する基礎知識を身につけるために、自然科学系科目を設ける
(4)「Society 5.0」において活躍できる流通・経営分野の管理・運営に応えられる技術者または情報技術者を育成するために必要な科目として、流通・ビジネスコースでは流通・物流・経営系科目や管理工学的手法などに関する科目を、情報通信コースでは情報基本科目および統計学などの科目を開設する
(5) 専門知識を実践的活用することができるように、また、課題解決案の立案能力の取得や自ら学習する能力の取得を目指し、流通情報工学演習など演習系の科目や卒業研究などを開設する

入学者の受入れに関する方針
（公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal/）

（概要）
本校では、「専門的知識と技術及び豊かな人間力を有し、社会に貢献できる実践的で創造的な技術者」の育成を目的とし、「求める学生像」に沿って、その能力と適性を有する人材を選抜するため、以下の方法で選抜を行います。

○ 推薦による選抜（全学科共通）
出身学校長が責任を持って推薦した学生で、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎的学力を有した学生を選抜するため、推薦書及び調査書を評価するとともに、志願動機、意欲、適性などに関して面接を行い、その結果を総合的に評価します。

○ 学力検査による選抜（全学科共通）
本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した学生を選抜するため、調査書を評価するとともに学力検査（理科、英語、数学、国語及び社会の 5 教科）を行い、その結果を総合的に判断します。なお、学力検査はマークシート方式になります。

○ 帰国生徒特別選抜（全学科共通）
豊かな国際性を備え、本校の教育を受けるのに必要な素養を有した学生を選抜するため、志願動機、意欲、適性などに関して、提出書類の評価と学力検査（理科、英語及び数学の 3 教科）、作文（日本語）及び面接を実施し、その結果を総合的に評価します。なお、学力検査はマークシート方式、作文は与えられたテーマについて 600 字程度になります。

○編入学試験（電子制御工学科及び流通情報工学科）
編入学者の選抜は、「推薦による選抜」と「学力検査による選抜」の二つで行います。
1　推薦による選抜は、在学する高等学校長から提出された推薦書及び調査書並びに本校で実施する口頭試問及び面接の結果を総合して行います。
2　学力検査による選抜は、提出された調査書並びに本校で実施する学力検査の成績及び面接の結果を総合して行います。なお、学力検査科目は次に示す通りです。
・電子制御工学科
英語、数学、専門科目（数学・物理または電気基礎のどちらかを選択）
・流通情報工学科
英語、数学、小論文（流通または情報若しくは流通情報に関わるテーマを提示する）

学部等名　総合科学科

教育研究上の目的
（公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/departments/souka/）
（公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal/）

（概要）
自然科学および人文・社会科学に関する基礎知識をベースにして、専門に関連した現実社会に生じている多くの問題を明確に分析でき、それらの問題を解決するための科学的なアプローチ法を的確に導き、実行することにより問題解決に向けた努力を継続できる人材養成を目指す。

卒業又は修了の認定に関する方針
（公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal/）

（概要）
【総合科学科電子情報システム系】
総合科学科電子情報システム系は、電気・電子、機械、計測・制御、情報の専門技術を中心とした幅広い基礎技術を身に付け、社会のニーズに応えられる技術者の育成を目的としています。総合科学科電子情報システム系ではこの目標に基づいて、以下の卒業認定に必要な能力を身につけた学生に対して、準学士の称号を授与しています。
(A) 豊かな心、生きる力及び規範意識を身につけている
(B) 地域や国際社会に対応できるコミュニケーション力を身につけている
(C) 電子制御分野で活用できる工学及びデータサイエンスに関する基礎知識を身につけている
(D) 電子制御に関わる専門知識を習得し、実験・実習及び演習・実技を通してその知識を電気電子、機械、計測・制御、情報分野で応用・実践できる
(E) 課題を発見し、創造的に対応できる実践力を身につけている
【総合科学科流通情報マネジメント系】
総合科学科流通情報マネジメント系は、情報工学・管理工学・法学に関する技術を身に付け、流通・経営分野の管理・運営に応えられる技術者の育成を目的としています。総合科学科流通情報マネジメント系ではこの目標に基づいて、以下の卒業認定に必要な能力を身につけた学生に対して、準学士の称号を授与しています。
(A) 豊かな心、生きる力及び規範意識を身につけている
(B) 地域や国際社会に対応できるコミュニケーション力を身につけている
(C) 流通ビジネス又は情報通信分野で活用できる工学及びデータサイエンスに関する基礎知識を身につけている
(D) 流通ビジネス又は情報通信に関わる専門知識を習得し、演習を通してその知識を情報社会や地域ビジネスで応用・実践できる
(E) 課題を発見し、創造的に対応できる実践力を身につけている

教育課程の編成及び実施に関する方針
（公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal/）

【総合科学科電子情報システム系】
総合科学科電子情報システム系ではディプロマポリシーに掲げる 5 つの能力を学修するため、低学年では一般教養科目に重点を置き、学年進行に伴い徐々に専門科目の比重を増加する楔形の 5 年一貫教育課程を編成しています。ディプロマポリシーの（A）（B）(C)は高専機構モデルコアカリキュラム「技術者が共通で備えるべき基礎的能力」と「基礎的資質・能力」、（D）は「技術者が備えるべき分野別専門的能力」として電気・電子系分野、機械系分野、材料系分野、情報系分野、（E）は「創造性・デザイン能力」に準拠して定めています。

(1) 豊かな心・規範意識や人間力を養い、他者や社会の多様な状況を理解できる知識を身につけるための人文・社会科学系科目を設置する。
(2) 地域や国際社会で活躍するための理解力やコミュニケーション基礎力を身につけるための語学系科目を設置する。
(3) 電子制御分野で活用できる工学及びデータサイエンスに関する基礎知識を身につける

ために、自然科学・情報科学系科目を設置する。
(4) 「Society 5.0」において活躍できる実践的・創造的メカトロニクス技術者を育成するために必要な科目として、電気・電子、機械、計測・制御、情報に関する科目を設置する。
(5) 専門知識を実践的活用することができるように、また、課題解決案の立案能力の取得や自ら学習する能力の取得を目指し、実験実習や卒業研究などを設置する。

【総合科学科流通情報マネジメント系】

総合科学科流通情報マネジメント系ではディプロマポリシーに掲げる 5 つの能力を学修するため、低学年では一般教養科目に重点を置き、学年進行に伴い徐々に専門科目の比重を増加する楔形の 5 年一貫教育課程を編成しています。ディプロマポリシーの (A) (B) (C)は高専機構モデルコアカリキュラム「技術者が共通で備えるべき基礎的能力」と「基礎的資質・能力」、(D) は「技術者が備えるべき分野別専門的能力」としてビジネス基礎系分野や経済ビジネス系分野、情報系分野、(E) は「創造性・デザイン能力」に準拠して定めています。

(1) 豊かな心・規範意識や人間力を養い、他者や社会の多様な状況を理解できる知識を身につけるための人文・社会科学系科目を設置する。
(2) 地域や国際社会で活躍するための理解力やコミュニケーション基礎力を身につけるための語学系科目を設置する。
(3) 流通ビジネス又は情報通信分野で活用できる工学及びデータサイエンスに関する基礎知識を身につけるために、自然科学・情報科学系科目を設置する。
(4) 「Society 5.0」において活躍できる情報工学・管理工学・法学に関する技術を身につけ、流通・経営分野の管理・運営に応えられる技術者を育成するための科目を設置する。
(5) 専門知識を実践的活用することができるように、また、課題解決案の立案能力の取得や自ら学習する能力の取得を目指し、流通情報マネジメント演習など演習系の科目や卒業研究などを設置する。

入学者の受入れに関する方針
（公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal/）

（概要）

本校では、「専門的知識と技術及び豊かな人間力を有し、社会に貢献できる実践的で創造的な技術者」の育成を目的とし、「求める学生像」に沿って、その能力と適性を有する人材を選抜するため、以下の方法で選抜を行います。

○ 推薦による選抜（全学科共通）

出身学校長が責任を持って推薦した学生で、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎的学力を有した学生を選抜するため、推薦書及び調査書を評価するとともに、志願動機、意欲、適性などに関して面接を行い、その結果を総合的に評価します。

○ 学力検査による選抜（全学科共通）

本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した学生を選抜するため、調査書を評価するとともに学力検査（理科、英語、数学、国語及び社会の 5 教科）を行い、その結果を総合的に判断します。なお、学力検査はマークシート方式になります。

○ 帰国生徒特別選抜（全学科共通）

豊かな国際性を備え、本校の教育を受けるのに必要な素養を有した学生を選抜するため、志願動機、意欲、適性などに関して、提出書類の評価と学力検査（理科、英語及び数学の 3 教科）、作文（日本語）及び面接を実施し、その結果を総合的に評価します。なお、学力検査はマークシート方式、作文は与えられたテーマについて 600 字程度になります。

学部等名　海事システム工学専攻

教育研究上の目的
（公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/departments/senko/）
（公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal/）

（概要）
本科における教育の基礎の上に立って、特定の専門領域における高度の知識・素養を使いこなすことによって理解の程度を深化させ、複合領域に対応できる幅広い視野を身につけ、高い課題設定・解決能力を備えた実践的・創造的技術者を育成する。
【海事システム工学専攻】
海事に関する幅広い知識や技術を持ち、マネジメント能力も兼ね備えた人材を育成する。

卒業又は修了の認定に関する方針
（公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal/）

（概要）
海事システム工学専攻では、海事に関わる幅広い知識・技術を持ち、海上輸送に関わるシステムの技術開発やマネジメントができる人材育成を目的としています。本専攻ではこの目標に基づいて、以下の修了認定に必要な能力を身につけ、学士の取得を目指します。
(A) 豊かな人間性と社会的責任感を身につけている。
(B) 国際社会に対応したコミュニケーションスキルを身につけている。
(C) 商船学分野で活用できる基礎科学と情報技術を身につけている。
(D) 商船学に関わる専門知識・技術を確立し、それを発展的に応用できる。
(E) 社会情勢の変化に対応した問題解決能力を身につけている。

教育課程の編成及び実施に関する方針
（公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal/）

広島商船高等専門学校のカリキュラムポリシーに基づき、海事システム工学専攻ではディプロマポリシーに掲げる 5 つの能力を学修するため、一般教科や専門教科、特別研究などがバランスよく配置されるように編成しています。ディプロマポリシーの（A）（B）（C）は一般教科を広く学べるよう人文・社会科学系科目や自然科学系科目を配置しています。（D）は準学士課程で修得した海事分野の専門基礎科目をベースに、さらに高度な専門知識を習得する科目やその専門知識を応用する科目を配置しています。（E）は問題発見・解決力育成を目指した課題解決型教育を行う科目を配置しています。
(1) 豊かな人間性と社会的責任感を身につけるために、人文・社会科学系科目を設ける。
(2) 国際社会に対応したコミュニケーションスキルを身につけるために、語学系科目を設ける。
(3) 海事関連分野で活用できる基礎科学と情報技術を身につけるために、自然科学系科目を設ける。
(4) 海事関連分野における専門知識・技術を確立し、それを発展的に応用できる能力を修得するために、海上輸送、港湾、法規などの船舶運航分野または熱機関、電気機械、設計などの船舶機関分野に加え、安全、環境、社会工学分野の知識・技術を修得し、海上輸送に関わる新技術の開発やマネジメント能力を身につけるための科目を設ける。
(5) 変化する社会や産業の状況を把握して課題を発見し、その解決策を計画して実行するとともに、その結果を検証する能力を身につける科目を設ける。

入学者の受入れに関する方針
（公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal/）

（概要）
本校では、「専門的知識と技術及び豊かな人間力を有し、社会に貢献できる実践的で創造的な技術者」の育成を目的とし、「求める学生像」に沿って、その能力と適性を有する人材を選抜するため、「推薦による選抜」、「学力検査による選抜」、「社会人特別選抜」を行います。
「推薦による選抜」においては、出身学校長が責任を持って推薦した学生で、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎的学力を有した学生を選抜するため、推薦書及び調査書を評価するとともに、志願動機、意欲、適性などに関して面接を行い、その結果を総合的に評価します。
「学力検査による選抜」においては、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した学生を選抜するため、調査書を評価するとともに学力検査（英語、数学、専門教科）を行い、その結果を総合的に判断します。
「社会人特別選抜」においては、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した学生を選抜するため、志望理由書、調査書を評価するとともに、志望動機、意欲、適性などに関して面接を行い、その結果を総合的に評価します。

学部等名　産業システム工学専攻

教育研究上の目的
（公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/departments/senko/）
（公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal/）

（概要）
本科における教育の基礎の上に立って、特定の専門領域における高度の知識・素養を使いこなすことによって理解の程度を深化させ、複合領域に対応できる幅広い視野を身につけ、高い課題設定・解決能力を備えた実践的・創造的技術者を育成する。
【産業システム工学専攻】
電子制御または、流通・経営システムに関するより高度な知識や技術を持ち、マネジメントのできる人材を育成する。

卒業又は修了の認定に関する方針
（公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal/）

（概要）
【電気電子工学】
産業システム工学専攻（電気電子工学）では、電子制御に関わる高度な知識・技術を持ち、制御機器・システムの技術開発や管理ができる人材育成を目的としています。本専攻ではこの目標に基づいて、以下の修了認定に必要な能力を身につけ、学士の取得を目指します。
(A) 豊かな人間性と社会的責任感を身につけている。
(B) 国際社会に対応したコミュニケーションスキルを身につけている。
(C) 電気電子工学分野で活用できる基礎科学と情報技術を身につけている。
(D) 電気電子工学に関わる専門知識・技術を確立し、それを発展的に応用できる。
(E) 社会情勢の変化に対応した問題解決能力を身につけている。

【社会システム工学】
産業システム工学専攻（社会システム工学）は、経営や情報に関わる高度な知識・技術を持ち、流通や物流の技術開発やマネジメントができる人材育成を目的としています。本専攻ではこの目標に基づいて、以下の修了認定に必要な能力を身につけ、学士の取得を目指します。

(A) 豊かな人間性と社会的責任感を身につけている。
(B) 国際社会に対応したコミュニケーションスキルを身につけている。
(C) 社会システム工学分野で活用できる基礎科学と情報技術を身につけている。
(D) 社会システム工学に関わる専門知識・技術を確立し、それを発展的に応用できる。
(E) 社会情勢の変化に対応した問題解決能力を身につけている。

教育課程の編成及び実施に関する方針
（公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal/）

（概要）

【電気電子工学】

広島商船高等専門学校のカリキュラムポリシーに基づき、産業システム工学専攻（電気電子工学）ではディプロマポリシーに掲げる 5 つの能力を学修するため、一般教科や専門教科、特別研究などがバランスよく配置されるように編成しています。ディプロマポリシーの（A）（B）（C）は一般教科を広く学べるよう人文・社会科学系科目や自然科学系科目を配置しています。（D）は準学士課程で修得した電気・電子系分野、機械系分野、材料系分野、情報系分野の専門基礎科目をベースに、さらに高度な専門知識を習得する科目やその専門知識を応用する科目を配置しています。（E）は問題発見・解決力育成を目指した課題解決型教育を行う科目を配置しています。

(1) 豊かな人間性と社会的責任感を身につけるために、人文・社会科学系科目を設ける。
(2) 国際社会に対応したコミュニケーションスキルを身につけるために、語学系科目を設ける。
(3) 電気・電子系分野、機械系分野、材料系分野、情報系分野で活用できる基礎科学と情報技術を身につけるために、自然科学系科目を設ける。
(4) 電気・電子、機械、計測、制御、情報などの電子制御分野に加え、安全、環境、社会工学分野の知識・技術を修得し、制御機器・システム開発や運用の能力を身につけるための科目を設ける。
(5) 変化する社会や産業の状況を把握して課題を発見し、その解決策を計画して実行するとともに、その結果を検証する能力を身につける科目を設ける。

【社会システム工学】

広島商船高等専門学校のカリキュラムポリシーに基づき、産業システム工学専攻（社会システム工学）ではディプロマポリシーに掲げる 5 つの能力を学修するため、一般教科や専門教科、特別研究などがバランスよく配置されるように編成しています。ディプロマポリシーの（A）（B）（C）は一般教科を広く学べるよう人文・社会科学系科目や自然科学系科目を配置しています。（D）は準学士課程で修得した流通ビジネスまたは情報通信分野の専門基礎科目をベースに、さらに高度な専門知識を習得する科目やその専門知識を応用する科目を配置しています。（E）は問題発見・解決力育成を目指した課題解決型教育を行う科目を配置しています。

(1) 豊かな人間性と社会的責任感を身につけるために、人文・社会科学系科目を設ける。
(2) 国際社会に対応したコミュニケーションスキルを身につけるために、語学系科目を設ける。
(3) 流通ビジネスまたは情報通信分野で活用できる基礎科学と情報技術を身につけるために、自然科学系科目を設ける。
(4) 物流、輸送・交通工学、マーケティング、コストマネジメントなど流通・社会工学分野に加え、安全、環境に関わる知識・技術を修得し、流通・社会システムの開発やマネジメント能力を身につけるための科目を設ける。
(5) 変化する社会や産業の状況を把握して課題を発見し、その解決策を計画して実行するとともに、その結果を検証する能力を身につける科目を設ける。

入学者の受入れに関する方針
（公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/goal/）

（概要）
本校では、「専門的知識と技術及び豊かな人間力を有し、社会に貢献できる実践的で創造的な技術者」の育成を目的とし、「求める学生像」に沿って、その能力と適性を有する人材を選抜するため、「推薦による選抜」、「学力検査による選抜」、「社会人特別選抜」を行います。
「推薦による選抜」においては、出身学校長が責任を持って推薦した学生で、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎的学力を有した学生を選抜するため、推薦書及び調査書を評価するとともに、志願動機、意欲、適性などに関して面接を行い、その結果を総合的に評価します。
「学力検査による選抜」においては、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した学生を選抜するため、調査書を評価するとともに学力検査（英語、数学、専門教科）を行い、その結果を総合的に判断します。
「社会人特別選抜」においては、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した学生を選抜するため、志望理由書、調査書を評価するとともに、志望動機、意欲、適性などに関して面接を行い、その結果を総合的に評価します。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/school/information/soshiki/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a.教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	8人	－					8人
一般教科	－	2人	5人	3人	3人	0人	13人
商船学科	－	2人	3人	3人	1人	0人	9人
総合科学科	－	8人	7人	3人	6人	0人	24人
広島丸	－	0人	2人	0人	2人	0人	4人
海事システム工学専攻	－	5人	9人	4人	2人	0人	20人
産業システム工学専攻	－	6人	12人	4人	4人	0人	26人

b.教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
人	10人	10人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法:https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/departments/teacher/

c.ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a.入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
商船学科	40 人	46 人	115.0%	240 人	246 人	102.5%	－	0 人
電子制御工学科	－人	－人	%	120 人	130 人	108.3%	若干人	2 人
流通情報工学科	－人	－人	%	120 人	133 人	110.8%	若干人	0 人
総合科学科	100 人	104 人	104.0%	200 人	201 人	100.5%	－	－人
合計	140 人	150 人	107.1%	680 人	710 人	104.4%	若干人	2 人
海事システム工学専攻	4 人	3 人	75.0%	8 人	6 人	75.0%	0 人	0 人
産業システム工学専攻	8 人	8 人	100.0%	16 人	12 人	75.0%	0 人	0 人
合計	12 人	11 人	91.7%	24 人	18 人	75.0%	0 人	0 人

（備考）
令和７年度改組により、電子制御工学科及び流通情報工学科募集停止し、総合科学科募集開始。

b.卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
商船学科	40 人 (100.0%)	4 人 (10.0%)	35 人 (87.5%)	1 人 (2.5%)
電子制御工学科	36 人 (100.0%)	4 人 (11.1%)	32 人 (88.9%)	0 人 (0.0%)
流通情報工学科	41 人 (100.0%)	9 人 (21.9%)	31 人 (75.7%)	1 人 (2.4%)
海事システム工学専攻	3 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)	3 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)
産業システム工学専攻	2 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)	2 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)
合計	122 人 (100.0%)	18 人 (14.8%)	103 人 (84.4%)	1 人 (0.8%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）
広島大学、東京海洋大学、金沢大学、豊橋技術科学大学、鹿屋体育大学、広島商船高等専門学校専攻科
日本郵船、郵船クルーズ、商船三井さんふらわあ、NTT ワールドエンジニアリングマリン、山友汽船、本田技研工業、ENEOS、ダイキン工業、三菱重工業、旭化成、パナソニックオペレーショナルエクセレンス、NTT 西日本、NTT 東日本グループ、NTT ドコモエンジニアリング、エヌ・ティ・ティ・データ・フロンティア

（備考）

c.修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)
	人 (100%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)
合計	人 (100%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)
（備考）					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）

授業計画（シラバス）は国立高等専門学校機構のモデルコアカリキュラムに基づき到達目標、ルーブリック、教育方法、授業評価および評価割合を記載したものを作成し Web 上で公開している。シラバスは下記過程で作成している。

・１２月　　次年度の授業計画を作成し、基本データを作成
・１月末　　各教員が担当授業のシラバスを作成
・４月１日　　シラバスの Web 公開

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）

本科共通

【卒業認定の基本方針】

広島商船高等専門学校は、豊かな人間性と国際性及び、強い精神力と高い倫理意識を持ち、将来社会において活躍するための基礎となる知識と技術を身につけ、さらに生涯にわたって学ぶ力を備えた人材を育成することを理念としています。本校ではこの理念に基づいて、学習・教育目標に沿って設けた授業科目を履修し、以下の項目にあげる知識・能力を身に付け、修得した学生に準学士の称号を授与します。

【養成する人材像】

(A) 豊かな心、生きる力及び規範意識を身につけている
→人文・社会科学系科目

(B) 地域や国際社会に対応できるコミュニケーション力を身につけている
→語学系科目

(C) データサイエンスに関する情報科学の知識を習得し、専門分野で活用できる工学に関する基礎知識を身につけている
→自然科学系科目、専門教科

(D) 専門知識を習得し、実験・実習及び演習・実技を通してその知識を応用できる
→専門教科

(E) 課題を発見し、創造的に対応できる実践力を身につけている

→実習・演習系科目及び卒業研究

準学士課程では、本科の学習・教育目標である「 (A) 豊かな心、生きる力及び規範意識の育成、(B) 地域や国際社会に対応できる広い視野と素養の形成、(C) 基礎科学や情報処理の知識・技術の習得、(D) 専門的知識・技術とその活用力の習得、(E) 社会に貢献できる創造力と実践力の育成」の各目標に対応した科目の履修により、商船学科については 147 単位以上、総合科学科については 167 単位以上を修得した学生に卒業を認定し、準学士と称することを認めます。

ここで、一般科目は (A) 、 (B) 、 (C) の科目、専門科目は (C) 、(D)、 (E) の科目が対応します。

上記単位の修得により、本科の教育目的「豊かな心、生きる力及び規範意識の育成、地域や国際社会に対応できる広い視野と素養の形成、基礎科学や情報処理の知識・技術の習得、専門的知識・技術とその活用力の習得、社会に貢献できる創造力と実践力の育成」を実現します。

専攻科共通

【修了認定の基本方針】

学習・教育目標に沿って設けた授業科目を履修し、以下の項目にあげる知識・能力を身につけ、専攻科に 2 年以上在学し、62 単位以上を修得した学生に対して修了を認定します。

【養成する人材像】

(A) 豊かな人間性と社会的責任感を身につけている。

→人文・社会科学系科目

(B) 国際社会に対応したコミュニケーションスキルを身につけている。

→語学系科目

(C) 専門分野で活用できる基礎科学と情報技術を身につけている。

→自然科学系科目

(D) 専門知識・技術を確立し、それを発展的に応用できる。

→専門教科

(E) 社会情勢の変化に対応した問題解決能力を身につけている。

→実習・演習系科目および特別研究

専攻科課程では、専攻科の学修・教育目標である「 (A) 豊かな人間性と社会的責任感の育成、(B) 国際社会に対応したコミュニケーションスキルの養成、(C) 基礎科学と情報技術の習得とその活用、(D) 専門的知識・技術の確立と発展的応用、(E) 社会情勢の変化に対応した問題解決能力の育成」の各目標に対応した科目の履修により、2 年以上在学し、62 単位以上を修得した学生に対して修了を認定します。

上記単位の修得により、専攻科の教育目的「 (A) 豊かな人間性と社会的責任感の育成、(B) 国際社会に対応したコミュニケーションスキルの養成、 (C) 基礎科学と情報技術の習得とその活用、 (D) 専門的知識・技術の確立と発展的応用、(E) 社会情勢の変化に対応した問題解決能力の育成」を実現します。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
	商船学科　航海コース	147 単位	有・無	単位
	商船学科　機関コース	147 単位	有・無	単位
	電子制御工学科	167 単位	有・無	単位
	流通情報工学科	167 単位	有・無	単位
	総合科学科	167 単位	有・無	単位
	海事システム工学専攻	62 単位	有・無	単位
	産業システム工学専攻	62 単位	有・無	単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		

学生の学修状況に係る参考情報 （任意記載事項）	公表方法：

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/facility/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
	商船学科	234,600 円	84,600 円	約 100,000 円	
	電子制御工学科				
	流通情報工学科				
	総合科学科				
	海事システム工学専攻	234,600 円	84,600 円	約 12,000 円	
	産業システム工学専攻				

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組

（概要）
・奨学金の案内及び授業料減免等の支援を実施
・留学生・編入学生に加え、原級留置者や休学からの復学者及び懲戒処分を受けた学生に対する就学・生活上の支援を、クラス担任・副担任、主事・主事補、学科長・専攻科長等との綿密な連携により組織的な支援を実施

b.進路選択に係る支援に関する取組

（概要）
・OB・OG による講演開催
・学内での合同企業説明会開催
・インターンシップの単位制導入

c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

（概要）
・全学生に対し「学校適応感尺度調査」を実施し、心身の健康等を把握し、関係教職員及び各科で共有し、学生への支援活動を実施。
・教員を対象にしてメンタルヘルス・ハラスメントについての研修を実施。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/research/

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。